

オフィシャル注意事項

公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟 競技事業委員会

「オフィシャル責任者」1名は、チームスタッフ(監督・コーチ等)または最上級生が行うこと。
(オフィシャル担当表の責任者欄に氏名と役職を記載すること)

オフィシャルも大事な大会業務であることをご理解ください。以下、必ず遵守すること。

① 担当試合の練習開始45分前までに夜間口より入場し、オフィシャル担当表1枚を提出すること。

② IDを首から下げ入場し、常に着用していること。

③ オフィシャルが全員揃ったら、本部席横の可動席付近で待機すること。以下注意点(1~9)

- 1.責任者が担当の役割確認をすること。(役割のQRコード表を確認すること)
- 2.携帯電話は試合前に全員分集めること。(人数分集まっているか競技役員が確認します)
- 3.会場内での飲食等は、原則として禁止する。
4. やむを得ず、水分補給する際は、屋外または観客席から見えない場所に移動すること。
- 5.券売担当2名は、前の試合の第2ピリオド終了までに金庫を受け取り南口へ向かうこと。
- 6.会場内において、IDは常に見えるように着用すること。
- 7.練習終了後、オフィシャルはパックを集め両バケツ同じ数量にして本部席後ろに置くこと。
(最終確認として、1人はリンクを1周してパックの有無を確認すること)
8. パック拾い係は、アウトオブバウンズのパックを走って取りに行くこと。
9. PB 係の担当者1名はアウトオブバウンズの際、速やかに審判にパックを手渡すこと。

*以下ゴールジャッジの注意点(A~D)

- A.全ピリオド、試合開始前にレフェリーがゴールジャッジに向かって、合図(リンク中央で手を挙げる)を送るので手を上げて合図または赤旗を大きく振ること。
- B.試合中はパックがリンク外に出ても拾いに行かないこと。
- C.いかなる理由でも、パックがゴールに入ったら(ゴールラインを越える。ライン上はノーゴール)ゴールボタンを押すこと。もしゴール信号が着かなかったら赤旗を振ること。
- D.レフェリーがゴールの合図をして本部席に行き報告が終了したら、ゴールボタンを再度押してゴール信号を消すこと。またノーゴールが分かった際は、速やかにゴール信号を消すこと。

*ゴールランプ(赤)は、時計が止まると点灯しません。(緑ランプが点灯した後は、押しても無駄です)
ゴールした瞬間にボタンを押すことができるように試合が始まったらゴールスイッチは常に持っていること。

*コロナ対策とは別に以下の項目は、継続します。

- ・連盟のダウンコートなどは、使用禁止です。各自で防寒着を準備すること。
- ・ゴールジャッジはレフェリージャージを使用する必要はありません。